

=====

\*\* 日本学術会議ニュース・メール \*\* No.825\*\* 2022/12/9

=====

1. 【ご連絡依頼】日本学術会議からのメールを受信できない会員・連携会員について
2. 【開催案内】公開シンポジウム  
「情報学シンポジウムー量子コンピューティングの展開ー」
3. 【採用情報】学術調査員（非常勤）（国際）の募集を開始しました。
4. 【お知らせ】学術関係者・シンクタンク研究員等を標的としたサイバー攻撃について（注意喚起）

■-----

【御連絡依頼】日本学術会議からのメールを受信できない会員・連携会員について

-----■

会員・連携会員 各位

この度、日本学術会議事務局からの電子メールが届いていない会員・連携会員がいらっしゃるなどのご連絡をいただきました。

現在、次期の改選に向けて、日本学術会議事務局から会員・連携会員に各種依頼等をご連絡しているところです。

本ニュースメールをご覧の先生の周辺の方に、日本学術会議事務局からの電子メールが届いていない会員・連携会員がいらっしゃいましたら、改選に係る各種の依頼等が届いていない恐れがありますので、以下の連絡先までその会員・連携会員のお名前をご連絡くださいますよう、よろしくお願いいたします。

<本件連絡先>

日本学術会議事務局企画課選考係 赤司、白石

Tel: 03- 3403- 1081（直）

Mail: scj-senkou@cao.go.jp

■-----

【開催案内】公開シンポジウム

「情報学シンポジウムー量子コンピューティングの展開ー」

-----■

【日時】令和5（2023）年1月23日（月） 13：00～17：00

【場所】オンライン開催

【主催】日本学術会議情報学委員会

【共催】（予定）一般社団法人情報処理学会、一般社団法人電子情報通信学会、

一般社団法人映像情報メディア学会、大学 ICT 推進協議会 (AXIES)

**【開催目的】**

第1部では、文部科学省、米国 NSF 等から招待講演者をお招きし、情報学分野の最近の研究戦略に関して講演をいただき、2023 年の科学政策の戦略的なポイントのメッセージを聞く貴重な機会とする。NSF の TIP は新設された部署であり、関心も大きい。

第2部では、量子コンピューティングに関して、情報科学の側面からの話題を取り上げた紹介を行う。伝統的な計算基盤を超越するといわれる量子コンピューティングについて、研究開発活動が活性化してきている。基盤となるハードウェアへの取組に加えて、その上のソフトウェア、アルゴリズムの取組も進行している。量子コンピューティングが、新しい情報科学を開く期待も大きい。

一方、情報科学分野全体の中では、量子コンピューティングを身近に感じるほどの十分な浸透がない。今回のシンポジウムでは、量子コンピューティングの展開を取り上げ、全体を俯瞰するとともに、量子ソフトウェア、量子機械学習、実用化へ向けた展望について取り上げて、情報科学コミュニティの中でその知見を共有することを目指す。

**【プログラム】**

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2023/333-s-0123.html>

**【参加費】** 無料

**【申込み】** 要・事前申込み

参加を希望される方は、以下のフォームに必要事項をご入力の上、送信してください。

<https://sites.google.com/view/scj-i/情報学シンポジウム>

**【問い合わせ先】**

情報学シンポジウム事務局：<https://forms.gle/zF4gwXzrZ6uDeZVE6>

■-----  
**【採用情報】** 学術調査員（非常勤）（国際）の募集を開始しました。

-----■  
**【採用内容】**

職名：内閣府 日本学術会議事務局 上席学術調査員又は学術調査員（非常勤）

採用予定者数：若干名

採用予定日：令和5年2月以降（予定）（時期については応相談）

**【業務内容】**

(1) 日本学術会議が加盟する国際学術会議（ISC）や IAP(InterAcademy

Partnership)等の国際学術団体や各国アカデミーに関する横断的な調査分析、資料作成及び連絡調整

- (2) 日本学術会議が毎年度主催している「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議」に関する支援業務
- (3) 日本学術会議が事務局の一翼を担う Future Earth プログラムに関する調査分析及び関係機関との連絡調整
- (4) 上記以外で、日本学術会議が国際学術交流事業を実施する上で必要となる調査分析、資料作成及び連絡調整等

**【勤務条件】**

勤務地：東京都港区六本木 7-22-34

勤務時間：週 3 日程度（応相談）

1 日 5 時間 45 分（10:00～12:00；13:30～17:15）

年次休暇は非常勤国家公務員の規程により付与

任期：令和 6 年 3 月 31 日まで（勤務状況によっては延長もあり）

給与：上席学術調査員：日額 15,100 円又は 18,200 円

学術調査員：日額 12,400 円

（資格、経験等によりいずれか）

賞与・昇給・交通費無し

※上記の金額は、法律等の改正及び施行に伴って変更する場合がありますので、ご承知おきください。

**【応募書類受付締切日】**

令和 5 年 1 月 4 日（水）必着

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

内閣府 日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）室

**【募集要項】**

[https://www8.cao.go.jp/jinji/saiyo/sonota/20221205\\_scj.pdf](https://www8.cao.go.jp/jinji/saiyo/sonota/20221205_scj.pdf)

■-----  
**【お知らせ】** 学術関係者・シンクタンク研究員等を標的としたサイバー攻撃について（注意喚起）  
-----■

警視庁サイバー警察局及び内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）は連名で「学術関係者・シンクタンク研究員等を標的としたサイバー攻撃について（注意喚起）」についてご連絡がございましたので、お知らせいたします。詳細は下記 URL（PDF）をご参照願います。

[https://www.nisc.go.jp/pdf/press/20221130NISC\\_press.pdf](https://www.nisc.go.jp/pdf/press/20221130NISC_press.pdf)

[https://www.nisc.go.jp/pdf/press/20221130NISC\\_gaiyou.pdf](https://www.nisc.go.jp/pdf/press/20221130NISC_gaiyou.pdf)

学術関係者、シンクタンク研究員を始めとする皆様におかれましては、このような組織的なサイバー攻撃が実施されていることに関して認識を高く持っていただくとともに、注意喚起の内容に示す事項を参考に、適切にセキュリティ対策を講じていただくようお願いいたします。併せて、不審な動き等を検知した際には、速やかに警察又は内閣サイバーセキュリティセンターに情報提供いただきますよう、重ねてお願いいたします。

\*\*\*\*\*

日本学術会議 YouTube チャンネル

[https://www.youtube.com/channel/UCV49\\_ycWmnfhNV2jgePY4Cw](https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnfhNV2jgePY4Cw)

日本学術会議公式 Twitter

[https://twitter.com/scj\\_info](https://twitter.com/scj_info)

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

\*\*\*\*\*

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

**【本メールに関するお問い合わせ】**

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34